

Note-PCの廃棄処理について (2011年度版)

(2011/04/05)¹

概要

この文書は、大学から皆さんに貸与している Note-PC について、卒業式の日までに、行なわなければならない手続きが記載されています。2011 年度 4 年生は、来春 2012 年 3 月 25 日に卒業するかどうかにかかわらず、ここに記載された、三つの手続きのいずれか一つを選択し、行なわなければなりません。

1 貸与予定期間の終了にあたって

1.1 返却の必要性

今年度卒業式 (2012 年 3 月 25 日) をもって、多くの方が、本大学の学籍を離れることになるかと思えます。それに伴い、皆さんにお貸ししている Note-PC も、原則、大学に返却して頂き、管理を大学に戻す必要があります。

返却して頂いた、Note-PC は、原則、大学側で、データ消去処置を行い、そのまま廃棄を行う予定になっています。これは、個人データの流出を防ぐと同時に、皆さんの Note-PC にインストールされている、次の「ライセンス管理を必要とするソフト (以下、単に「ライセンスソフト」と呼ぶ)」を、確実にアンインストールし、ライセンス違反を防止することが目的です。

ライセンス管理を必要とするソフト (ライセンスソフト)

- Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint, Access)
- Mathematica

また、Note-PC は、リース会社と契約し、賃貸してもらっている形になっているので、リース開始年数により、廃棄できる機種と廃棄できず、次年度以降も数学科が大学の財産として管理しなければならない機種とに分かれます。

廃棄できない機種 (次年度以降も大学の財産です)

- HP Mini 5103
- VAIO W
- HP 2230s/CT

1.2 対処のお願い

しかし、進学などの理由で、「来年度以後も Note-PC を利用し、上記のライセンスソフトを利用したい」、あるいは、「卒業後も、データ消去、アンインストールを確実に行うので、Note-PC を自分のものにしたい」という要望もあるということから、次のような形で、「対処」を行ってもらうことによって、このような要望に対応することにしました。

¹この資料の最新版は <http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/2011/help/20100405/flow/flow.pdf> から入手できます。

1.2.1 廃棄できる機種の場合

(対処 1: 延長) 来年度も在籍される方で、引続き、ライセンスソフトを利用したい場合

- そのまま Note-PC をご利用ください。
- 必ず IT 資産管理調査 を行ってください。
- IT 資産管理調査結果 を E-Mail で提出してください。
- 「利用延長願い」を提出してください。

(対処 2: 廃棄) ライセンスソフトは利用しないが Note-PC を今後も利用したい。

- 最初に、機種を確認してください。廃棄できない機種 (HP Mini 5103, VAIO W, HP 2230s/CT) を御持ちの方は、この「対処 2」ではなく「対処 3」の形で、御返却ください。これらの機種は廃棄できません。したがって 2010 年度に 3 年に編入した方は廃棄を選べません。
- 次のライセンスソフトウェアを必ず アンインストール してください。
 - Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint, Access)
 - Mathematica
- IT 資産管理調査 を行ってください。アンインストールしたかどうかは、IT 資産管理システムを用いて確認します。
- IT 資産管理調査結果 を E-Mail で提出してください。
- 「アンインストール報告書」を提出してください。

(対処 3: 返却) Note-PC は廃棄できる機種だが、不要なので大学にデータ消去廃棄処理を任せたい。

- 「Note-PC 返却票」を提出してください。
- Note-PC を返却してください。こちらでデータ消去処置を行います。

1.2.2 廃棄できない機種の場合

廃棄できない機種の場合は、上記の (対処 2: 廃棄) が選択できないので、次のいずれかになります。

(対処 1: 延長) 来年度も在籍される方だけが選択できます。

- そのまま Note-PC をご利用ください。
- 必ず IT 資産管理調査 を行ってください。
- IT 資産管理調査結果 を E-Mail で提出してください。
- 「利用延長願い」を提出してください。

(対処 3: 返却) Note-PC は来年度も大学の財産なので必ず返却してください。

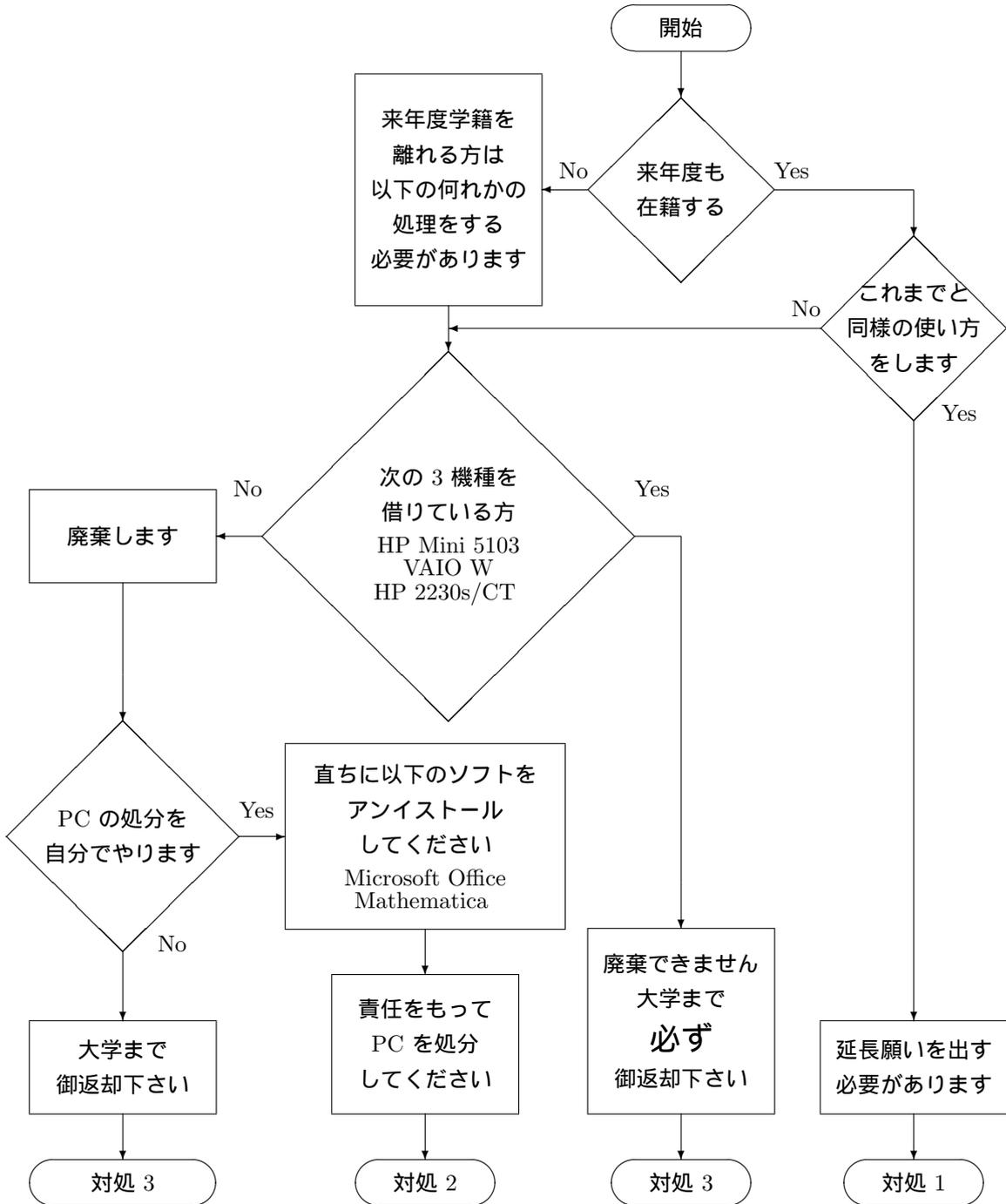
- 「Note-PC 返却票」を提出してください。
- Note-PC を返却してください。こちらでデータの消去処置を行います。
- BIOS パスワードを設定している場合は、必ずそれを解除し、パスワードなしに BIOS が利用できるようにしてください。

1.3 対処の期限

2012年3月25日を迎えるにあたって、Note-PCに関して、上記の対処1～3のいずれかの対応をお願い致します。どの対応を行わなければならないかは、「Note-PC対応のフローチャート」で御判断ください。

いずれにせよ、何らかの対応を行う場合の期限は、「2012年3月25日迄」となりますので、宜しくお願いします。

Note-PC 対応のフローチャート



2 対処方法

2.1 対処方法の選択

対処方法は、上記の三つの対処(対処 1:延長、対処 2:廃棄、対処 3:返却)から一つ選んで実施して頂くわけですが、どれでも自由に選択できるわけではありません。例えば、延長は、来年度も在学されている場合だけですし、廃棄できない機種の場合は、廃棄を選べません。したがって、2010年4月に3年次に編入した学生が学籍を離れる場合は、返却しか選択できないことになります。

表1は、どの対処が選択可能かを表しています。

		機種	
		廃棄不能 HP Mini 5103 VAIO W HP 2230s/CT	その他(廃棄可能) INSPIRON 710m LATITUDE D620 vostro 1200 等
来年度の身分	卒業	対処 3	対処 2, 3
	在籍(進学を含む)	対処 1, 3	対処 1, 2, 3

表 1: 選択可能な対処法

また、作業の選択にあたって、提出すべき書類(どの選択肢でも必ず、提出する書類があることに注意してください)や、行わなければならない作業等がありますので、それを表2にまとめましたのでご確認ください。

対処方法	対処 1(延長)	対処 2(廃棄)	対処 3(返却)
アンインストール	不要	必須	不要
IT 資産管理	必須	必須	不要
E-Mail 報告	必須	必須	不要
提出書類等	利用延長願い	アンインストール報告書	Note-PC 返却票
Note-PC 本体	そのまま利用	各自管理	大学に返却
必須条件	次年度在学	廃棄可能な機種	なし
後処理	延長期間終了後また対応する	PC の処分は自分で行う	なし

表 2: 対処法と作業

2.2 対処 1: 延長

2.2.1 条件

この選択肢は、来年度も、日本大学理工学部(大学院の数学専攻 / 情報専攻への進学も含む)に在籍する場合のみ選択できることに注意してください。この選択肢を選ぶ場合は、機種は関係ありません。

また、この選択肢を選ぶ場合は、来年度も同 Note-PC 上で、ライセンスソフトが利用できます。

来年度、大学に在籍する場合でも、廃棄できる機種の場合は、廃棄を選択し、個人の物にすることができますが、その場合は、ライセンスソフトが利用できなくなることに注意してください。

2.2.2 作業

IT 資産管理 必ず IT 資産管理調査を行ってください。延長利用するという事は、その Note-PC が、大学の資産であることを意味しますので、IT 資産管理が必須となります。

IT 資産管理調査結果 を E-Mail で提出してください。

延長願い 「利用延長願い」を出してください。

- 延長期間は、基本的に 1 年間なので、延長期限は 2013 年までとしますが、大学院前期課程進学の場合は 2 年間になりますので、延長期限を 2014 年までとしてください。
- 「利用延長願い」には、必ずボールペンで、直筆で署名してください。

提出期間 2011 年 12 月 1 日から 2012 年 3 月 25 日

提出先

- 栗野研究室 8 号館 823
- 志村研究室 9 号館 966A
- 4 年生担任

上記の他、卒研毎に取りまとめの案内を出します。

2.3 対処 2：廃棄

2.3.1 概要

これは貸与されている Note-PC が廃棄できる機種の場合に限ります。

貸与 Note-PC にインストールされているソフトウェアのうち、Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint, Access), Mathematica は日本大学がライセンスを持っているものですので、卒業と同時にこれらのソフトウェアを使用する権利は消滅します。

そのため、貸与 Note-PC 本体を返却しない場合は、これらのソフトウェアのアンインストールを確認する必要があります。

この確認のためには、IT 資産管理システムを利用します。貸与 Note-PC を IT 資産管理調査をしていない学生は、Note-PC 本体を返却してください。

2.3.2 条件

この選択肢を選ぶ場合は、まず、機種を確認してください、以下の機種は、廃棄が選択できません。もし、今年度で卒業し、来年度に大学の籍がない場合は、次の「対処 3 (返却)」を行ってください。

廃棄できない機種

- HP Mini 5103
- VAIO W
- HP 2230s/CT

2.3.3 作業

アンインストール 卒業と同時に使用権の消滅するソフトウェアをアンインストールする。

ライセンス管理を必要とするソフト (ライセンスソフト)

- Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint, Access)
- Mathematica

これらのライセンスソフトを利用することができるのは、来年度も在籍している人が延長の手続きを取る場合だけです。

また、ソフトウェアにより、学生でなくなると有償となるものがあります。(例：AL-Mail) これらについては、アンインストールするか、あるいは使用料を払うかなど²の適切な処置を取ってください。

SoftwareChecker.exe の実行 必ず SoftwareChecker.exe の実行を行ってください。これは、アンインストールの後に行い、その結果をこちらで把握するために必要な情報となります。ソフトウェアチェッカー (SoftwareChecker.exe) を用いて、インストールされているソフトウェアの情報を調査し、以下にあるような形で、報告してください。

ソフトウェアチェッカーの最新版は、次の場所³ にコピーが置いてあります。

<http://www.math.cst.nihon-u.ac.jp/~shimura/soft/>

IT 資産管理調査結果の提出 (E-Mail) ソフトウェアチェッカーを実行すると、デスクトップに「XX-XX-XX-XX-XX-XX.html」という名前 (X の所には、0 ~ 9 の数字、あるいは A ~ F の大文字が入る) の新しいファイルが作成されます⁴。これは、ソフトウェアチェッカーを実行した時点の Note-PC のソフトウェアのインストール状況の情報になっています。このファイルを以下の要領で E-Mail に添付して提出してください。

(提出先 E-Mail アドレス) it-chousa@math.cst.nihon-u.ac.jp

(表題/Subject) IT 資産管理調査結果

(本文) 以下の例に従って、正しく入力してください。

[氏名] 理工太郎 (御自分の名前を指定してください)

[学生番号] 9876 (御自分の学生番号を指定してください)

[機種] DELL vostro 1200 (貸与されている Note-PC の機種を指定してください)

[資産管理番号] 171-HW-9876-9876 (貸与されている Note-PC に貼られている銀色のシール「理工学部 IT 資産管理」に記載されている番号を指定してください。)

[e-mail] riko-taro@google.co.jp (自分がよく利用する EMail アドレスを指定してください)

(添付ファイル) 上記の「XX-XX-XX-XX-XX-XX.html」を添付してください。

²就職先が教育関係の場合は、引続き、無料で利用を継続できる可能性があります。詳しくは、AL-Mail をライセンス条項を確認してください。

³これらの場所は、学外からもアクセスできるので、自宅からでもダウンロードできる。

⁴調査を終了すると削除されてしまう事があるので、もし、その様なファイルが存在しない場合は、ソフトウェアチェッカーをもう一度実行し、その実行中に、このファイルを USB メモリなどにバックアップを取り、そのバックアップファイルを提出してください。

頂いた調査結果は、こちらで、「IT 資産管理システム」に反映します。

その反映の結果、インストールしている有償のソフトウェアが、すべて、既に資産管理システムに入力済のライセンス情報に対応していれば、この処理は終了となります。

しかし、もし、ライセンス情報が不十分な事が判った場合は、再度、対応のお願いを、ここ記載して頂いた、E-Mail アドレス宛に連絡します。従って、ここに記載された E-Mail アドレスは、年度末だけでなく、卒業後もきちんと読む事ができ、また、頻繁に読むような E-Mail アドレスを指定してください。

もし、この E-Mail アドレスでの連絡が取れない場合は、「廃棄」対応ではなく、「返却」対応とさせていただきます。

アンインストール報告書 以下の要領で「アンインストール報告書」を提出してください。

提出期間 2011 年 12 月 1 日から 2012 年 2 月 28 日⁵

提出先

- 栗野研究室 8 号館 823
- 志村研究室 9 号館 966A
- 4 年生担任

上記の他、卒研毎に取りまとめの案内を出します。

- 「アンインストール報告書」の提出は、Note-PC の返却と同様に、もってきて頂く⁶が、郵送でお送りください。
- 「アンインストール報告書」には、必ずボールペンで、直筆で署名してください。

Note-PC の処分 以下の作業を責任をもって行ってください。

- 日本大学の所有を示す、シール（オレンジや銀色のシール）は、直ちに剥してください。ただし、銀色のシールに記載されている「IT 資産管理番号」は、最終確認のために必要な情報となりますので、卒業式の日までは、そのまま貼っておくか、あるいは、その番号を控えておいてください。
- Note-PC の処分には経費が掛ることに注意してください。その経費は御負担下さい。
- Note-PC の処分に際しては、個人情報等の流出が生じない様に、ハードディスクの内容の消去など、十分な対応を行ってください。

2.4 対処 3：返却

2.4.1 概要

来年度以降に学籍がない学生で、貸与された Note-PC が廃棄できない機種である場合は返却となります。また、貸与された Note-PC が不要となる場合も返却を選択することができます。

⁵アンインストール報告書の提出期限が、2 月末日（卒業式の日ではない）であることに注意してください。これは、アンインストール状況を、こちらでチェックする必要があるからです。もし、アンインストール状況が不適切な場合は、Note-PC を返却して頂きます。

⁶図書事務室の「栗野」のポストが一番簡単だと思います。

廃棄できない機種

- HP Mini 5103
- VAIO W
- HP 2230s/CT

2.4.2 条件

返却を希望する場合は、特に条件はありません。なお、返却の際には、その Note-PC が故障した状態でも構わないことに注意してください。返却のために、故障を直す必要はありません。もし、何らかの理由で、現時点で Note-PC が故障しているのであれば、Note-PC の廃棄にも料金がかかることを鑑み、大学に返却するのが一番簡単⁷です。

2.4.3 作業

以下の要領で、Note-PC を大学に返却してください。

PC 返却票 Note-PC 返却票 を記入して提出してください。

返却 Note-PC 本体を返却してください。

返却物 返却の対象となる物は以下のものです。

- 「本体」と「電源ケーブル」を御返却下さい。
- 箱、マニュアル、CD-ROM 等は、返却不要です (もってきて構いませんが..)。
- BIOS パスワードを設定している場合は、必ずそれを解除し、パスワードなしに BIOS が利用できるようにしてください。
- 返却にあたって、Note-PC が、故障していても構いません (修理は不要です)。そのまま返却ください。

返却手段 以下のいずれかの手段で、Note-PC を御返却ください

- 以下の日時に、所定の場所に御持ちください⁸。

返却期間 2011 年 12 月 1 日から 2012 年 3 月 25 日

返却先

- 栗野研究室 8 号館 823
- 志村研究室 9 号館 966A
- 4 年生担任

上記の他、卒研毎に取りまとめの案内を出します。

- 2012/03/25 迄に、以下の住所まで、宅急便などでお送りください

- 〒 101-8308

⁷もちろん、故障していても「廃棄」が可能で、そうしたい場合は、その選択肢を選んでも構いませんが、その為には、ライセンスソフトのアンインストールとその後の IT 資産管理システムでの調査が必要であることに注意してください。

⁸予め E-Mail 等で連絡し、受渡し日時を予約してから返却しましょう。

- 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14
- 日本大学理工学部数学科
- 栗野 俊一

返却された Note-PC は大学で廃棄作業を行います。返却された Note-PC に関しては、大学で個人情報の消去作業等を行った上で、大学の費用で廃棄処理を行います。

3 問い合わせ連絡先

上記の手続きに関して、質問や問い合わせなどは、以下まで、ご連絡ください。

担当者名 栗野 俊一 (くりの しゅんいち)

E-Mail kurino@math.cst.nihon-u.ac.jp

URL <http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/>

Tel 03-3259-0864 (但し、上記の返却時間)

Note-PC 利用延長願い

私が現在、貸与されている以下の Note-PC を来年度以降も利用したいので、利用延長をお願いいたします。

20 年 月 日

氏名	
学生番号	
貸与 PC の機種	INSPIRON 710m, LATITUDE D620, vostro 1200
ハードウェア 資産管理番号	171-HW-
延長期限	年 3 月 25 日 迄

ソフトウェアアンインストール報告書

私が貸与を受けた Note-PC にインストールされていたソフトウェアのうち、日本大学がライセンスを持つソフトウェアについては、アンインストールを実行しました。

20 年 月 日

氏名	
学生番号	
貸与 PC の機種	INSPIRON 710m, LATITUDE D620, vostro 1200
ハードウェア 資産管理番号	171-HW-

Note-PC返却票

私が貸与を受けた Note-PC を返却いたします。

20 年 月 日

氏名	
学生番号	
貸与 PC の機種	INSPIRON 710m, LATITUDE D620, vostro 1200
ハードウェア 資産管理番号	171-HW-